



令和5年12月15日（金） 岐阜県発表資料			
担当	担当係	担当者	電話番号
恵那南高校	教務部	小島光示	直通 0573-54-2537 F A X 0573-54-4652
教育総務課	教育企画係	高橋信之	内線 8521 直通 058-272-8729 F A X 058-278-2812

<地域連携による活力ある高校づくり推進事業>

恵那南高生考案商品「しみチョコ勝ち栗」のパッケージデザインの リニューアルを恵那市長に報告します

恵那南高校では、ふるさと教育の一環として、恵那市や恵那川上屋との連携により、恵那栗の生産・加工・販売に取り組む6次産業学習を展開し、社会人・職業人としての人材力アップと恵那市を中心とした地域経済への貢献を目指しています。この学習の一環として、令和元年度には「しみチョコ勝ち栗」を考案し、商品化したところです。

このたび、学習の成果として恵那南高校の生徒が「しみチョコ勝ち栗」のパッケージデザインをリニューアルしましたので、恵那市長に報告するとともに、近隣の高校に受験生応援グッズとして「しみチョコ勝ち栗」を贈ります。

記

- 日 時 令和5年12月20日（水） 16時00分～16時30分
- 場 所 恵那市役所 西庁舎 3階 災害対策室（恵那市長島町正家 1-1-1）
- 内 容
 - ・恵那南高校の6次産業学習の成果を恵那市長へ報告
 - ・恵那南高生考案商品「しみチョコ勝ち栗」の披露
 - ・受験生応援グッズを恵那高校、中津高校、恵那南高校の生徒代表者に贈呈（※商品の説明は「裏面」をご覧ください。）
- 出席者

恵 那 市 市 長	こさか たかね 小坂 喬峰
教 育 長	おかだ しょうじ 岡田 庄二
（株）恵那川上屋 執行委員	こいしかわ ひろなが 小石川 浩永
県立恵那高等学校 校長	もりおか たかふみ 森岡 孝文
〃 生徒代表	こうけつ ゆめ 纈纈 優芽（3年）
県立中津高等学校 教 頭	たかはし きよひと 高橋 清仁
〃 生徒代表	いとう はるき 伊藤 晴貴（3年）
県立恵那南高等学校 校長	あんどう のりかず 安藤 範和
〃 生徒代表	こんどう せいや 近藤 聖弥（3年）
〃 製作者代表	いしだ ちはる おぐり ももか もり みさき 石田 千晴、小栗 百華、森 心咲（3年）

（※3年ビジネスと観光系列の授業で商品開発を実施）
（敬称略）

(裏面)

恵那南高生考案「しみチョコ勝ち栗」

(令和5年度 恵那南高校 6次産業学習商品)

恵那南高校の「6次産業学習」では、これまでに恵那栗の甘露煮、ワンプレートケーキを考案してきました。さらに受験生を応援するための商品「しみチョコ勝ち栗」のパッケージデザインのリニューアルを手掛け、恵那川上屋さんに製造していただきました。

商品のコンセプト

○受験を無事に突破してもらおうという想いを込め、

・受験生のこれまでの努力が縁起物の「勝ち栗※」にしみ込む！

☞ 恵那栗を「勝ち栗」にみたくて、チョコレートでコーティングし（しみ込ませ）ました。

・受験生応援グッズとして！

☞ 二つ折りにして商品を包むパッケージデザインにこだわりました。

・幸せをつかむ！

☞ 受験生応援グッズ贈呈用限定4粒入りです。

<受験生応援グッズ贈呈用パッケージデザイン>

<しみチョコ勝ち栗>

表面



裏面



折り曲げます

(※) 「勝ち栗」

勝栗とは本来『搗栗』と書き、栗を殻付きのまま干して臼で搗（か）ち、殻と渋皮を取り除いたものことです。保存性に優れて栄養価も高いことから戦国時代には兵糧として重宝され、また、『搗ち』が『勝ち』に通じることから出陣の際に用いられるようになりました。現在では搗栗を食べる機会はほとんどなくなり、栗そのものを『勝栗』として用いることが多くなりました。